

【書式例 5-3】

平成 29 年度 指定管理者点検結果

施設名	玉野市障害者地域活動支援センター「こころの里」
所在地	玉野市宇野 1 丁目 8 番 8 号
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 円い空 代表者 理事長 青井 一展 住所 玉野市宇野 1 丁目 8 番 8 号
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 (3 年間)
担当部課	社会福祉部 福祉政策課 電話 0863-32-5556 E-mail fukushi@city.tamano.okayama.jp

評価内容の総括	総合評価
施設管理、運営等の実施状況等 全体的に良好な指定管理が行われている。	B

* 行数は適宜調節してください。

■ 「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 障害者地域活動支援センターとして、障害のある利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう必要な支援が行われた。</p> <p>【法令等の遵守】 法令等を遵守し、適切な施設運営が実施された。</p> <p>【安全性の確保】 セキュリティ・消防業務等の専門的な業務は、委託業者を用いながら適切に実施されている。</p> <p>【財産の適切な管理】 維持管理は適切に実施されている。</p> <p>【利用状況】 相談支援事業は増加傾向。</p> <p>【コスト削減への方策】 コスト削減については、支出の8割が人件費関連の支出で、日頃からコスト削減の努力がされており、これ以上のコスト削減は見込めない。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
地域交流等イベントを行い、サービスの維持向上取組んでいる。	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
コスト削減の経営努力を行っているが、赤字経営となった。	B

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

平成29年度 地域活動支援センター事業実績

実施主体	玉野市					
事業を実施する施設名及び所在地	地域活動支援センター こころの里 玉野市宇野1丁目8番8号					
延利用者数	5,670名 (利用契約者数286名)					
職員配置	職種	定員	勤務形態	職種	定員	勤務形態
	顧問医	1名	嘱託	精神保健福祉士	4名	常勤3名 非常勤1名
	施設長	1名	常勤(他事業所管理者兼務)	支援員	1名	非常勤
事業内容	生活支援事業 延利用者数 682名					
	<ul style="list-style-type: none"> ・憩いの場に関する支援 (サロン利用) 361名 ・食事に関する支援 232名 ・作品づくり（趣味）に関する支援 90名 ・体力・仲間づくり（スポーツ）に関する支援 97名 ・余暇（リラクゼーションを含む）に関する支援 202名 ・生産活動（ケーキ作り）に関する支援 77名 					
	生活相談事業 延相談件数 4,911件					
	<ul style="list-style-type: none"> ・面接相談 984件 ・電話相談 3,522件 ・訪問相談 406件 					
	地域交流活動推進事業 実施回数 4回					
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン・コンサート 73名 ・こころの里祭り 100名 ・餅つき交流会 53名 ・玉野こころの講演会 219名 						
延利用者数（参加者総数） ; 445名						
その他地域生活に関する事業						
<ul style="list-style-type: none"> ・当事者活動支援 132名 ・こころの健康展 10名 						
延利用者数 ; 142名						
その他地域交流等に関する事業 実施回数 3回						
<ul style="list-style-type: none"> ・「家族の集い」「家族学習交流会」 10名（家族+ボランティア） ・「ボランティア交流研修会」 24名（ボランティア） 						
延参加者数 ; 34名						

平成29年度 年 報

1. 施設運営

①開所時間

午前9時30分～午後6時00分（休業日：日曜日・水曜日・祝日・12/29～1/3）

②職員配置

施設長 1名（相談支援専門員 他事業所管理者 兼務）

精神保健福祉士 4名（うち、常勤3名、非常勤1名）

支援員（非常勤） 1名

※常勤換算3.9人（昨年度比0.7人増）

③決算報告

別紙の通り

2. 事業報告

①開所日数・契約者・利用者・相談事業利用状況（表1、表3、表4-1及び表4-2）

契約者数、利用者数、相談件数等は別表の通りである。

②各事業の状況

（1）生活支援事業（表2-1）

○料理教室（隔月）

今年度も生活技能の向上と皆で一緒に食事をする楽しさを味わうということを目的として、偶数月に6回行った。今年度は、「ちくわのオープンオムレツ」、「なすと牛肉のオイスターソース炒め」、「ピーマンの肉詰め」、「鶏のつくねの照り焼き」、「ビーフシチュー」、「白菜と肉団子のスープ」に挑戦した。その季節の野菜を使った簡単な家庭料理を作っている。今年度も4名～8名の利用者が参加した。ピーマンにミニチーズを詰めたり、肉団子を丸めたりという作業を皆で会話しながら行うのは、大変楽しいようである。今年度も2～3名のボランティアに手伝って頂きながら、その日作る3品の中から自分の作りたい料理1品を作るというやり方で行った。同じボランティアが継続して協力してくださっているので、利用者はボランティアに親しみを持っており、なごやかな雰囲気で行われている。皆で力を合わせて楽しく料理できている。

○手芸教室（隔月）

今年度も利用者から押し絵を作りたいという希望が多かったので、「花菖蒲」、「ゆり」、「桔梗」、「クリスマスツリー」、「犬（干支）」、「もくれん」を作った。今年度も手芸が好きな利用者5～6名がほぼ毎回参加され、作品作りを楽しんだ。1名の方は、今年の干支の犬で12支全て作られたことになった。手芸教室は開設当初から同じボランティア講師が指導してくださっており、その歴史を感じることができた。皆さん、作り方にかなり慣れてこられ、手際良く作られている。細かい作業ではあるが、根気強く丁寧にされ

ており、出来上がった作品に大変満足されている。「参加して楽しかった」という声もよく聞かれている。出来上がった作品は、「玉野こころの講演会」（こころの健康展）に毎年展示している。

○カレーの日（隔月）

カレーの日は、来所回数の少ない利用者、家で引きこもりがちな利用者の参加を期待して行っている。皆で食事をする楽しさを味わったり、気分転換を図ってもらうことを目的としている。昨年は「オアシス作業所」が就労継続支援事業所への移行に伴い移転、やや遠方となったことから、オアシスからの参加者が減ったが、今年度はオアシス職員の協力を得て、参加希望者を送迎することとなり、再び、にぎやかさがもどってきた。2月のカレーの日には、利用者が作ってくれたパウンドケーキの差し入れがあり、いつもは食べ終わったらすぐに帰る利用者もそれを食べながらゆっくり歓談するという和やかな風景が見られ、利用者相互の交流の場ともなった。

カレーは職員とボランティアで作り、利用者は自分で使った食器は自分で洗って片付けるという方法で行っている。ボランティアも一緒に利用者と食べて頂き、会話も弾んで楽しい会となっている。カレーの日を楽しみにしているという声が多く聞かれている。

○鍋の日（隔月）

日頃一人だとなかなか鍋ができない方や、作るのは手間だという利用者さんの声から、隔月で行っている。各自分担当して、食材の切り分けや、食器を並べたりと、協力して準備をしている。

鍋の種類については利用者の意向も取り入れながら、「鶏鍋」、「冷しゃぶ」、「焼肉鍋」、「キムチ鍋」、「すき焼き」「豆乳鍋」を行った。7月の「冷しゃぶ」では、当日来ていた学生ボランティアの方2名にも準備をしてもらった。参加者と談笑される風景が見られ、賑やかな鍋の日となった。

いずれの回も2～7名の利用者が参加。鍋をかこみ、語らいながら、ゆっくり団らんの時間を取ることができる和やかな会となっている。食後の片付けも、毎回皆で協力して行うことができている。

○絵手紙講座（1回／月）

今年度も季節に応じた草花や題材の中から、描きたいものを各自選んで自由に表現した。のびのびと描きながら楽しんでいる。今年度は昨年度より参加者が減少傾向にあった。1名だけという月が3回、3月は参加者が全くなかった。参加者がゼロというのは、この講座が始まった以来のことだった。人数は多少減ったが、参加した利用者は絵を描くのが好きな方ばかりなので、皆、その時間を楽しんでいた。どのように描いたらいいか困った時には、ボランティア講師から助言を頂き、個性あふれる作品に仕上がっている。出来上がった絵手紙は、皆で見て、感想を述べ合ったりしている。ボランティア講師からも「それぞれすばらしい」と褒めて頂いている。今年度もボランティア講師が描いてくださった絵手紙をプレゼントしてくださり、利用者は大変喜んでいた。出来上がった作品は、「玉野こころの講演会」（こころの健康展）で展示したり、冊子「玉野地域の精神保健福祉サービス」の挿絵として掲載している。

○手描友禅（不定期）

講師がご高齢になられたため、講師の体調を考慮し、今年度は行わなかった。

○ランチの日（奇数月）

ランチの日もカレーの日と同様、皆で食事をする楽しさを味わったり、気分転換を図ってもらうことを目的としている。個人ボランティアで2チームを作り、交互に家庭料理を作ってくださっている。今年度は、「ちらし寿司」、「マーボーなす丼」、「ミートボールの酢豚」、「焼きそば、ポテトサラダ」、「餃子入り雑煮」、「オムライス」を作って頂いた。利用者は素朴な家庭の味を満喫している。特に焼きそばやオムライスは今年初めてのメニューで、人気があった。今年度は12名～19名の利用者が参加した。オムライスの日が19名で、ここ数年で一番多かった。ボランティアも利用者と一緒に会話をしながら食べて頂き、楽しい時間を持っている。多くの利用者が支援ボランティアに「ごちそうさまでした」、「おいしかったです」と感謝の言葉を述べている姿が見られている。

○スポーツの日（1回／月 卓球）

屋外スポーツをする条件が整いにくいため、年間を通して卓球を行っている。館内でできるため、その時間に居合わせた誰もが気軽に参加して体を動かせる良い機会となっている。

5月の県大会には3名が出席し、金メダル2個と銀メダル1個という好成績をおさめた。また平成30年2月の「精神障害者卓球大会」には交流の部（団体戦）、競技の部（個人戦）に5名の選手がエントリー、団体戦で3位に入った。

○ソフトバレーボール（定期練習1～2回／月、合同練習1回／3ヶ月）

月1回狭いホールを借りて行っている練習は、小さいコートにバドミントン用のネットという練習環境。ただ、今まで職員を含め5～6人が2組に分かれて対戦スタイルの練習をしていたが、今年はママさんバレーチームの方々が支援ボランティアとして協力いただくようになり、ミニコートながらも1チーム6人編成で実践的な練習ができるようになった。平日の行事のため、就職などで参加者が減っているが、それでもコンスタントに参加している利用者は目に見えて上達しており、さらなる向上心を持ってほとんど休まず参加している。

また3ヶ月に1回、慈生病院のデイケアの皆さんとの練習に参加させてもらっており、参加を希望する利用者3～4名が、大勢のメンバーさんに混ざって質の高い練習をしている。1月には岡山シーガルズの指導練習（「晴れの国トップアスリート派遣事業」）にも参加させていただき、よい勉強になった。

5月の岡山県障害者スポーツ大会バレーボール競技には、今年は5名までこころの里からメンバーを揃えることができ、他のチーム所属のメンバー2人に入っていたときチームを結成し、出場。

1年を通じ、多くの場面でいろんな方々と素晴らしい交流の機会を得る事ができた。

○のど自慢会（1回／月）

ネットを使った通信カラオケを利用して実施している。コンスタントに6～9名の参加者があり、1人3曲を目安に、初めての曲や練習したい曲にも挑戦している。概ね1時間半の時間で行っているが、全員が3曲歌うとオーバーする日もあり、参加者人数によって延長することも増えている。参加費の中から用意したお菓子を食べながら、和気あいあいと行っている。

1月の回では通信カラオケソフトのwiiが配信終了となり、急遽昔使っていたLD、DVDのカラオケソフトで対応。2月から最新ゲーム機SWITCH導入で通信カラオケを再開。音程表示や採点など新機能が付いた。

○リフレッシュ教室（1回／月）

経験のあるボランティア講師に来ていただき、音楽に合わせて体をほぐしたり、バランス感覚を養ったりと、体力をつけながら、心身ともにリフレッシュしている。呼吸の仕方や、ストレッチの箇所、回数など適切な指導により、疲れ過ぎず、それでいて充実感のある全身運動となっている。

運動後のクールダウンを兼ねた講師を囲むティータイムは、季節の話題や健康づくりなどについてなごやかに話し合う場となっている。

○合唱の日（随時）

歌を歌うことで気分転換ができたり、気持ちが楽になったりできればと期待してこの日を設けている。今年度も、5月、9月、11月、1月、3月の奇数月に行った。今年度は新しい参加者はなかったが、歌が好きな利用者2名～7名が参加された。利用者からの希望を聞きながら、フォークソングや歌謡曲、その季節の唱歌を歌って楽しんだ。歌い終わった後は、毎回、皆でお茶を飲む時間を設けており、講師ボランティアとの会話を楽しんでいる。1月はこころの講演会で歌う曲を集中して練習した。2月の講演会当日は、玉野少年少女合唱団、スタッフと共に「うれしい雛まつり」「赤い帽子白い帽子」「赤い花白い花」「ふるさと」を歌い、講演会に花を添えることができた。

○映画の日

娯楽の多様化などもあり、当面開催を休止し、利用者の反応を見させていただいたが、特に再開の要望も上がらなかつたため、今年度は実施しなかった。

○パソコン教室（1回／月）

パソコンに触ったことがない方から手紙や文章を作りたいという方まで、様々な方が参加される。最近は、自分のしたいことを自発的にされる方が多くみられ、目標をもって熱心に参加される方が増えている。年末に年賀状を作成するべく多くの方が参加されるため、12月のみ2回の開催となった。自分なりの年賀状づくりを恒例の活動として取り組まれる姿も見受けられる。毎月2～5名の利用者が参加されるが、用意するパソコンが3台のため、参加希望者が多い場合は時間の区切りをつけて交代してもらう場合もある。毎回参加される利用者の中には、表計算ソフトの関数の活用法の習得を目指す方もあり、実践的な内容に取り組むことも継続している。

○ペーパークラフト俱楽部（1回／月）

インターネットを通じて無料配布されている素材を用いて、ペーパークラフト作りを行っている。いくつかの素材の完成見本図の中から、各自がやってみたい物を選んでそれぞれに取り組んでいる（動物、キャラクター、乗り物、季節の置物、など）。

参加者は少人数ながら（1～5名）、毎回熱心に取り組まれている。完成に数ヶ月かかる場合もあるが、それぞれに達成感を味わっているようである。出来上がった作品の一部は、館内や「玉野こころの講演会」（こころの健康展）でも展示している。

（2）当事者活動支援（表2-2）

○めばるの会（1～2回／月）

毎月第1木曜日に設定している「話し合い」の日にいろいろな行事の企画立案、前回行事の振り返り等を行う。今年も季節の行事の他、奉仕活動としての自主清掃活動、「玉野こころの講演会」に実行委員として参加、「こころの里まつり」への出店と、家族会の協力も得ながら、幅広く活動することができた。

4／7 春の岡山後楽園お花見＆天満屋お買い物ツアーカー会員4名、職員2名参加

バスを乗り継ぎ岡山後楽園へ。少しだけ小雨を感じながらも満開の桜のトンネルの下でランチ。お花見の後は天満屋で思い思いにショッピングを楽しんだ。

6／16 清掃活動 カー会員4名、会員以外1名、家族会3名、ご家族1名、職員3名参加

自主活動としての清掃ボランティアを実施。施設内の植木の伐採、剪定、花壇の手入れ、草取り、花植えを行う。本活動については会員以外の利用者にも参加を呼び掛け、賛同者が一緒に汗を流している。活動後にめばるの会が茶話会を設け、互いの労をねぎらった。

7／1 バーベキュー カー会員10名、家族会3名、職員2名参加

定例の話し合いに日頃から参加しているめばるの会員が、事前に予算の割り振りや食材の調達に奔走し、当日を迎える。当日は館内での食材準備班と屋外の炭おこし班に分かれて全員で協力して準備を行う。家族会の皆さんも参加してくださり、差し入れ等、ご協力をいただいた。総勢15名、アイスクリームを食べながらの振り返りの時間まで、今年も終始楽しく賑やかに実施できた。

10／1 「こころの里まつり」に出店 カー会員5名、家族会3名

「こころの里まつり」への積極的参加という趣旨で、今年も家族会の方と一緒に出店し、ボランティアの方に作っていただいた「ねぎ焼」の販売を担当する。早々に完売した。

10／28 清掃活動 カー会員3名、家族会1名、ご家族1名、職員3名参加

6月に続き自主活動としての清掃ボランティアを実施。施設内の植木の伐採、剪定、花壇の手入れ、草取りを行う。今回は会員以外の利用者の参加者がなく残念であった。活動後にめばるの会が振り返りの茶話会を設け、互いの労をねぎらった。

11／17 秋の旅行 カー会員4名、職員2名参加

電車と路線バスを利用して倉敷へ。昼食は皆でフードコートに入り、各々好きなものを選んで一緒に食べた。その後、倉敷美観地区へ移動しての自由散策。近年長い距離を歩くことが難しいメンバーも出てきて、希望者が乗り合わせでタクシーを利用するケースもある。今回も個別の対応をしながら、団体行動として予定通りに実施できて良かった。

12／22 クリスマス会 カー利用者11名、職員2名参加

ケーキを買いに行く担当が1名、それ以外のメンバーで飲み物やお菓子の買い出しと、会

場の飾りつけをした。クリスマスらしい雰囲気の中で、おしゃべりしながらケーキを食べ、トランプのババ抜きで盛り上がった。今年は参加者が11名もいたため職員も会場で控え、会の進行を手伝った。

1／12 新年会＜利用者5名、職員2名参加＞

例年通り、近くのカラオケ店でカラオケをした。お菓子や飲み物は事前に皆で買出しに行き、持ち込む。職員はカラオケ店での会計の手伝いをしたが、新年会の時間内はカラオケ店ロビーで控え、カラオケルーム内の運営はメンバーに任せた。

2／17 「玉野こころの講演会」出展 ＜出展ブース事前準備：利用者1名、職員2名＞

事前に協力して、出展ブースで展示する『めばるの会年間活動ポスター』を作成。

3／ 2 めばるの会・総会 ＜出席者5名、（※委任者9名）、職員2名参加＞

平成29年度会計報告、新役員の選出、次年度年会費の金額について承認された。

○話茶話茶（わっさわっさ）の会（隔月）

自由な語らいの場＝茶話会として、利用者有志の呼びかけにより、今年度より開始。当初は利用者だけでなく、家族やボランティアの参加もあったが、徐々に利用者自主運営の集まりとして定着しつつある。

5／20 外出 ＜利用者10名参加＞

「こころの里」に集合し、「たまの・港フェスティバル」に出かけた後、茶話会。

7／28 茶話会 ＜利用者8名参加＞

語り合い。一人が自身の体験発表を語り、参加者がそれぞれ感想などを述べ合った。

9／15 茶話会 ＜利用者6名参加＞

語り合いの中から、11月に「タコ焼きパーティー」を実施することが決まる。

11／10 タコ焼きパーティー ＜利用者6名参加＞

「タコ焼きパーティー」を実施。参加費100円を徴収。

1／26 茶話会 ＜利用者6名参加、見学者1名（未契約者）＞

語り合い。

3／23 茶話会 ＜利用者7名参加＞

語り合いの中から、5月に「お好み焼きパーティー」を実施することが決まる。

（3）家族支援

○シフォンケーキ作り（1回／月）（表2－1参照）

シフォンケーキ作りを始めて今年度で11年目になり、仕上がりは安定しているが、たまに膨らみが不十分なものができたり、砂糖の量を間違えることが1度あった。参加人数は3～8名だった。6月にケーキを焼いている途中にオーブンが壊れ、2ホール失敗してしまったという出来事があった。壊れたオーブンはボランティアさんが修理してくださり、再び使用できるようになった。また、ハンドミキサーも1台壊れるというトラブルもあった。結局、壊れてはいないが古いハンドミキサーはパワーがないということで、新しいハンドミキサーを2台購入した。卵白の泡だけが大変楽になり、質の良いメレンゲが出来るようになった。1時間30分の休憩時間には、買い物に行かれたり、おしゃべりしたりとその時間を楽しんでおられるようである。3グループに分かれて作業しているが、同じグループで作業することで気持ちが安定する方には、そのようにしてもらっている。細かい指示がなくても自主的に作業、片付けができるようになっている。

○家族の集い（12／ 1）

心の病を持つ方のご家族を対象に、毎年度実施している「家族の集い」を行う。今年はNPO法人ピアサポートセンター「ひといろの実」よりピアサポートの方及びご家族の方、コーディネーターとして「ひといろの実」スタッフをお招きし、「当事者・家族の体験発表に学ぶ」と題しての体験発表を頂く。利用者家族3名、支援ボランティア1名、専門職1名、職員3名が参加。

前半はオリエンテーションとして自己紹介をし、この会で解決に向かっていったら良いと思う悩みを

参加者全員で共有。のちにピアソーター、ご家族の方の順に発表して頂き、それぞれの立場から思うこと・考えることをありのままの言葉で語っていただいた。当事者の方からは年をとっていく母への不安や、亡き父の言葉が支えになっていることを、家族の方は娘の将来ばかり心配していたが、本人の意思を尊重して今の調子で頑張ってほしいことなどを話された。

講演後の座談会では体験発表の感想を述べたり、意見交換などを行われ「しっかりとパワーを頂いた」「体験談はとても役に立った」との感想をいただいた。

○家族学習交流会（3／29）

玉野地域での精神障害者家族への支援について具体的な取り組みへの一歩として、心の病を持つ方のご家族を対象に「家族学習交流会」を行う。NPO 岡山けんかれんより家族ピアソーターとして活動されている2名をお招きし、『家族どうしの支え合いについて～「精神障害者家族ピアサポート」に学ぶ～』と題してご講演を頂いた。当事者家族6名、職員3名が参加。

前半部分で、実際に岡山けんかれんやお二人の所属する家族会で行われている家族学習会について紹介を頂き、その後はみんなねっとで公開されている家族学習会の映像を視聴。実際に使用されているテキストやスケジュールを見ながら学習会のイメージを掴んで頂いた。

後半部分の交流会ではお茶菓子を囲みながら、感想とともにお互の近況報告や今の悩みなどを共有。頑張られているんですね、と苦労を労いながら、悩み事について参加者の方々と意見交換を行った。家族どうしで話をする機会が日々無く、同じような思いをしている方が多くおられることが分かっただけで心が落ち着いたという感想をいただいた。

③ボランティアの状況

（1）研修会の実施状況

ボランティアとしての役割、ボランティア活動に求められる姿勢を理解すること、ボランティアの資質の向上を目的として、7月31日に実施。支援ボランティア団体7名、個人登録ボランティアから10名、専門職5名、その他2名、合計24名が参加。

おかげま発達障害者支援センター池内豊氏からの「発達障害のある人を理解し支える～私たちにできること～」と題しての講演を頂く。資料やDVDに沿って、広汎性発達障害を中心にその特性や発達障害の方との接し方などについて話された。参加された方からのアンケートには、「発達障害のことを全く知らなかったが、少し理解できるようになった。当人との接し方、考えさせられた」、「もっとたくさんの人に発達障害のことをわかってほしいと思った」、「サポートする人がしっかりと考えて話ができるように頑張れたらと思う。ナチュラルサポートを目指す」など様々な感想が記載されていた。

（2）支援状況（表2-3）

○支援ボランティア団体による支援

- ・岡山メンタル友の会 玉野・灘崎
…みかん狩り（1月）、地域交流活動（こころの里祭り・餅つき交流会等）の支援

- ・いちごミルク…傾聴ボランティア（毎週木曜日）、地域交流活動の支援

※「いちごミルク」は、今年度をもって解散となったが、メンバーの1名が個人登録ボランティアとして、週1回の傾聴ボランティア活動等は引き続き行つていただけることになった。

○個人登録ボランティアによる支援

- ・趣味講座の講師
- ・生活支援事業（食事会・趣味講座・スポーツ等）への参加
- ・地域交流活動の支援
- ・シフォンケーキ作りの補助

④運営懇談会の状況

年3回実施（6月・10月・3月）。玉野地域の精神保健福祉関係者が一堂に会する機会であり、当センター運営についての報告や意見交換に加え、関係機関の情報交換の場としても活用されるなど、関係者のネットワーク強化の役割も担っている。

参加機関：めばるの会、さくらんぼの会、岡山メンタル友の会 玉野・灘崎、いちごミルク、玉野市福祉政策課、玉野市健康増進課、備前保健所、岡南病院、由良病院、河口医院、慈圭病院、就労継続支援事業所オアシス、手毬の里 虹、Little Plus

※ 倾聴ボランティアグループ「いちごミルク」は、今年度をもって解散し、メンバーから外れることとなった。

⑤地域交流（普及啓発）活動

○地域交流活動（詳細は別紙）

サロンコンサート（6／11）、こころの里まつり（10／1）、お餅つき交流会（12／17）、
こころの講演会（2／18）を行う。

○元気が一番まつり／玉野福祉チャレンジフォーラム（11／29）

こころの里を紹介するパネルを展示
(障害者週間にあわせ、玉野市役所にも紹介パネル他を展示)

⑥玉野市障害者総合支援協議会 活動状況

事務局連絡会議（月1回；年間12回）

運営連絡会議（2ヶ月に1回；年間6回）

協議会全体会議（年1回）

精神保健福祉部会（年4回）

相談支援検討会議（2ヶ月に1回；年間6回）

玉野福祉チャレンジフォーラム（「元気が一番まつり」と合同開催）

⑦就労支援

今年度も、市内および周辺地域で就労移行支援事業所や就労継続支援事業所の新規開設が続き、相談支援事業として連携・協働する事業者数が増えている。

3. 事業実施による成果、今後の方向

今年度は、人員配置面では、施設長（相談支援専門員兼務）が、同じ法人で運営する関連事業所（就労継続支援事業所）の管理者と兼務となった部分を補うため、新たに常勤の精神保健福祉士1名を配置した。

相談支援事業においては、昨年度から引き続き高い件数で推移しており、相談支援従事者のうち1名はより専従に近い状態で従事できるよう対応したところであるが、基本相談にとどまる場合も多く、事業収入はむしろ昨年度よりも減少した。岡山市内の事業所でのケア会議数・モニタリング訪問も急増し、また、香川県直島町在住の利用者からの対応依頼もあり、移動範囲が広くなってきており、対応件数以上に時間と経費が必要となってしまっている。

地域活動支援センター事業においては、従来からの行事・地域交流普及啓発事業を継続した。地域交流普及啓発事業においては、今年度もおおむね参加者が前年並みを維持し、一定の成果を示すことができた。定例の行事・活動についても、ボランティアの方々の支援を受けながら、より多くの利用者の参加意欲を

刺激するよう、また、参加後に達成感が得られるよう、様々に工夫を凝らしながら継続しているところである。一方で、参加者の実数という面では、引き続き厳しい状況にある。

今年度の利用者状況の内訳としては、通所利用数は若干の減少傾向にあるが、電話相談件数は引き続き増加傾向にある。今後も、相談支援事業の利用件数はさらに増加していくことが見込まれる一方、I型支援センターとして「訪れる方を迎える支援」の質を維持・向上し、両立させていくことが、今後も継続した課題と考えられる。

また、玉野地域の公認の精神障害者家族会が解散してから数年が経過している現状にかんがみ、今年度は家族支援事業を年2回実施した。今後も当センターが培ってきた地域の医療機関や行政とのネットワーク等を活かしながら、家族が集まる機会を増やしていくなど、具体的な取り組みに着手していきたいと考えている。

あわせて、利用者の当事者活動の在り方についても、これまでの諸活動を尊重しながらも、各利用者の主体性を高めることや、利用者が相互に支え合う姿勢などを醸成することを促すような活動の在り方も模索していきたい。

対応すべき課題は多いが、人員体制の強化により、「安心して過ごせる場所の提供」、「憩える場の創造」という支援センターの基本ベースを安定させることのできた今年度であったと総括する。引き続き、相談支援の充実を図りながら、通所した利用者がそれぞれの居場所として、「もう一度来たい」、「長く利用したい」と感じてもらえる雰囲気作り、「関わり」の質の更なる向上を、今後とも目指していきたい。併せて、現体制を維持するための経費を確保するための業務設計・費用の配分のあり方についても検討を続けたい。

地域交流活動推進事業実施報告書

【 サロン・コンサート 】

開催日時	平成 29 年 6月 10 日（土曜日） 13時～15時
開催場所	サロン・調理場他
参加人数	利用者：13名 未契約当事者（入院中）：5名 病院職員：3名 家族：2名 登録ボランティア：9名 一般：31名 奏者：4名 職員：6名 ／合計：73名
内容	<p>《目的》</p> <p>日頃、あまり体験できない生の演奏をとおして癒しの場を提供するとともに、演奏後の交流会により精神障害者（利用者）と地域住民が触れ合う機会を設けることで、お互いの理解を深めることを目的に開催した。また、当センターを広く地域住民にPRする機会として活用することも併せて目的とした。</p> <p>《内容》</p> <p>フルートアンサンブル「ローザ」をお招きして、「爽やかなフルートの風にのって」と題して、1時間程度の演奏会を開催した。交流会では、前日に利用者が家族会・登録ボランティアの協力で手作りしたシフォンケーキを提供した。参加者より300円の会費を徴収した。</p> <p>《反省及び課題など》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年は一般の方が昨年の約2倍来て下さり、全体で63名（奏者職員を除く）の参加者になった。昨年より、14名増加した。昨年以上にぎやかで楽しいコンサートとなった。また、演奏にあわせて一緒に歌う場面でも参加者された方はよく歌って下さり、大盛りあがつた。 ・ 交流会は48名までしか席を作ることができなかつたので、予約の段階でお断りするほど参加希望が多かった。交流会では演奏者に様々な質問が飛び交い、大変なごやかな交流会となった。 ・ アンケートの結果では、「フルートの音色は心を洗われるようだった」「素晴らしい、癒しになりほつとして息抜きになった」「生のフルートの演奏に感動した」などと書かれており、多くの方が感動して下さったようである。 ・ 交流会に参加できる人数が限られているので（演奏者を含めて52席）予約なしで参加される利用者ことを考えて、一般の方の参加人数に制限を設けるかどうかを来年は検討する。

地域交流活動推進事業実施報告

【 サロン・コンサート 】



「爽やかなフルートの風にのって」



客席の様子



交 流 会

域交流活動推進事業実施報告書

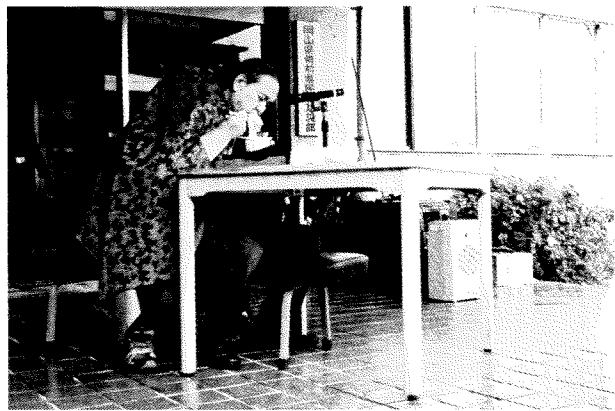
【 こころの里まつり 】

開催日時	平成 29 年 10 月 7 日（土曜日） 11 時 30 分 ~ 14 時 30 分
開催場所	駐車場 他
参加人数	利用者：30名 未契約当事者（入院中）：6名 家族会：3名 ボランティア（岡山メンタル友の会、いちごミルク、玉野フォークダンス クラブ、ゲスト歌手、個人登録ボランティア）：39名 その他：16名 職員6名 ／合計：100名
内容	<p>《 目的 》</p> <p>地域交流と、こころの里の活動をより知っていただく目的で、利用者・家族・地域の精神科病院入院患者・各種ボランティア団体に加え、地域住民の方や地元歌手に声を掛け、交流の輪を広げると共に、自然に打ち溶け合える祭りを目指す。</p> <p>当日は参加者が、模擬店・カラオケ・ステージの催し・クイズ大会・フォークダンスなどを通じ、お互いの理解を深め合える機会をめざした。また、出店やステージへの参加を呼びかけ、皆で創りあげる喜び・達成感を味わえる祭りとしたい。先々は、地域の風物詩となれるよう大事に育てていきたい。</p> <p>《 内容 》</p> <p>模擬店（カレー・うどん・おでん・かき氷・綿菓子・ジュース・ネギ焼等）を日頃から支援していただいているボランティアと作業所の協力により出店。今年も当事者会「めばるの会」のメンバーが家族会「さくらんぼの会」の方と一緒に模擬店の販売を担当した。雨のため飲食の場所を急遽玄関ホールにも設置し対応した。</p> <p>ステージの催しは、恒例ののど自慢大会と全員による合唱により、良い雰囲気でスタートを切った後、2名の当事者有志が二人羽織の芸で会場を沸かせてくださいました。クイズ大会では、地元の人気スイーツを選びすぐり、こころの里からの景品として提供した。</p> <p>今年は地元歌手の上久保雄志さんをお招きし、玉野にちなんだオリジナルソングで盛り上げていただいた。</p> <p>また降ったり止んだりの天気の中、最後を飾る玉野フォークダンスクラブの協力による全員参加のフォークダンスも無事実施することができ、今年も充実した内容となった。</p> <p>《 反省及び課題など 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨模様となったが、利用者数は例年と変わりない参加があった。久しぶりの顔も見られ、忘れず楽しみにしていただいていると実感した。 ・今年も多くのボランティアの方が6月の企画会議に始まり、前日の準備から当日の後片付けまで関わって下さった。 ・今年は日程が合わず断念したが、今後も「こころの里まつり」を啓発活動の機会として、学生の参加を積極的に呼び掛けて行きたい。

地域交流活動事業実施報告 【こころの里まつり】



利用者によるカラオケ（合唱）



利用者による二人羽織



クイズ王選手権



上久保雄志さんの
フォークソングライブ



めばるの会（当事者会）の
販売ブース



フォークダンス

地域交流活動推進事業実施報告書

【 お餅つき交流会 】

開催日時	平成29年12月16日（土曜日） 10時～12時30分
開催場所	こころの里 サロン・調理場 他
参加人数	利用者：22名 家族：4名 ボランティア：14名 その他：1名 玉野市福祉政策課：6名 職員：6名 ／合計53名
内 容	<p>《 目 的 》</p> <p>季節の行事である餅つきを通して、精神障害者（利用会員）と地域ボランティアがふれあい、協力しあうことにより、お互いの理解を深める。</p> <p>《 内 容 》</p> <p>男性利用者・男性ボランティアを中心に協力して、9臼（鏡餅・持ち帰り用丸餅・お手入れ用）の餅をつき、女性利用者・女性ボランティアは館内にて、お餅作りと昼食の準備を行う。参加者全員で、ついたお餅と豚汁を昼食としていただきながら交流を図る。</p> <p>利用者より 300 円の参加費を徴収し、年始用のお餅を持ち帰っていただく。</p> <p>《 反省及び課題など 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気が心配されテントを準備していたが、晴天になり滞りなく餅つき交流会を終えることができた。 ・利用者の参加人数は22名で昨年より1名少なく、ボランティアの参加人数も3名少なかった。全体で9名少なかつたが、今年もなごやかに楽しく餅つきを行うことができて大変よかったです。 ・今年もノロウィルス感染予防のため、餅に触る人はキャップとマスクと手袋、餅をつく人はマスクをつけていただき、衛生対策に配慮した。 ・1臼目と2臼目の餅はかなり柔らかくなってしまった。昨年も1臼目は柔らかくなってしまったので、来年は蒸し時間に充分留意したい。 ・毎年、餅米が早く蒸しあがって急いで餅をつくという状態になっていたが、今年は蒸し始める時間を少し遅らせたので、ゆったりスタートで来てよかったです。

地域交流活動事業実施報告
【お餅つき交流会】



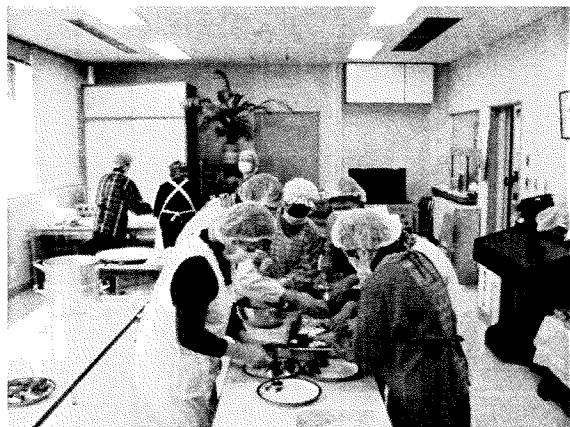
もちつき準備



開会式



餅つき



お手入れ餅



餅作り

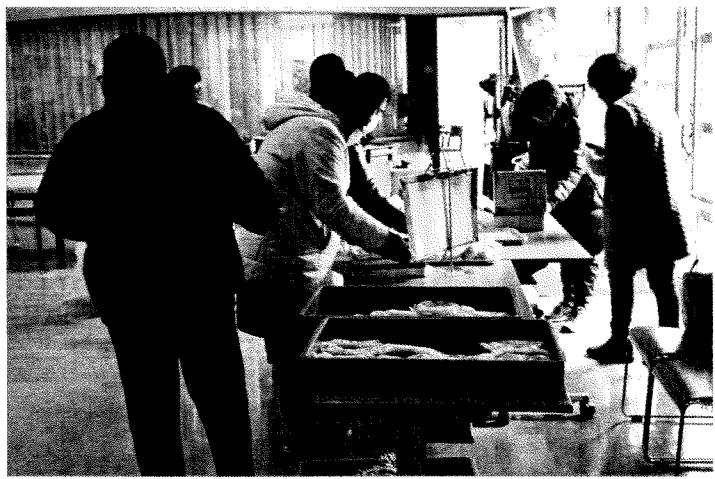


食事風景

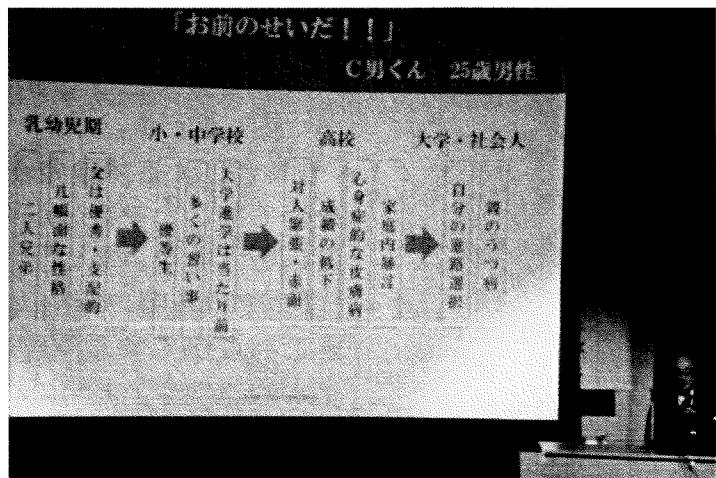
地域交流活動推進事業実施報告書
【玉野こころの講演会・こころの健康展】

開催日時	平成30年2月17日(土) 11時30分～15時30分
開催場所	すこやかセンター（玉野市総合保健福祉センター）
参加人数	利用者、家族、地域ボランティア、一般、スタッフ（実行委員） ／合計：219名
内容	<p>《目的》</p> <p>広く一般市民を対象とし、少しでも多くの方々の理解を得る機会となるよう、精神保健福祉をテーマとした講演会を開催し啓発活動を行う。関係機関と協力し「玉野こころの健康を考える会」として啓発活動を展開することで精神保健医療福祉に携わる関係者のネットワークを築いていく。また、精神医療・保健・福祉の社会資源を広く地域住民にPRする機会としても活用していく。</p> <p>《内容》</p> <p>当事者による体験発表では、幼少期からの苦しかった経験や、居場所を持てたことで自分が大きく変わったことを、“まだつながりを持てずにいる人を救いたい”という思いで、具体的にお話してくださった。</p> <p>講演では講師の岡山大学大学院教育学研究科教授 塚本千秋氏が、「ひきこもりから学ぶ～青年期と社会について～」と題し、ひきこもりの基本的認識や、人間の心理的成长を阻害する現代の社会について解説、具体的な事例も用いて当事者が成長していく過程や、家族や本人への支援の仕方についてもヒントをくださった。大変多くのことがらを学べ、かつ終始温かい眼差しが感じられる講演であった。</p> <p>合唱は、玉野少年少女合唱団に参加していただき、懐かしい歌を来場者と一緒に歌った。“かわいくて感動した”との声が多く寄せられた。</p> <p>エントランスホールで同時開催の「こころの健康展」では、関係機関による喫茶コーナー、手作り作品販売、参加団体による作品展示や社会資源の紹介を行った。</p> <p>《反省及び課題など》</p> <p>来場者数は昨年を下回ったものの、ひきこもりというテーマに強い関心を持った方が多く来られ、熱心に聴いてくださる雰囲気が会場に感じられた。それはアンケートの感想欄への書き込みの多さからもうかがえた。反省として、テーマの重さから講演後の質疑応答は難しかったと思われ、事前に質問を受け付ける方法があれば、間接的ではあるが双方向コミュニケーションの時間が作れたのではないかという点が挙げられ、今後に活かしていきたい。</p> <p>来年度も多くの方に向けて玉野の医療および精神保健福祉に関する普及と啓発につながるよう、取り組んでいきたい。</p>

地域交流活動事業実施報告 【こころの講演会】



こころの健康展



当事者による体験発表

講師による講演



合唱

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

地域活動支援センター こころの里

[税込] (単位:円)

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

指定管理委託料	17,000,000
相談支援事業収入	3,117,510
補助金収入(けんかれん家族支援事業助成金)	20,500
寄付金収入	30,000
雑収入	31,874
受取利息収入	16
経常収入 計	20,199,900

【事業費】

外部講師等報償費(事業)	122,000
印刷製本費	39,204
当期事業費 計	161,204
合 計	161,204
事業費 計	161,204

【管理費】

給料 手当	14,461,702
法定福利費	2,217,321
福利厚生費	324,180
通信費	1,318,712
水道光熱費	342,916
旅費交通費	44,120
広告宣伝費	64,087
接待交際費	12,721
会議費	8,595
事務用消耗品費	555,924
備品消耗品費	234,424
新聞図書費	85,344
修繕費	110,334
車両燃料費	70,000
保険料	196,006
租税公課	28,300
諸会費	22,000
支払手数料	53,800
管理諸費	246,747
雜費	2,160
管理費 計	20,399,393
経常収支差額	△ 360,697

当期正味財産増加額	△ 360,697
前期繰越正味財産額	315,752
当期正味財産合計	△ 44,945

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

地域活動支援センター こころの里

[税込] (単位:円)

平成30年 3月31日 現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	835,767
現 金	29,781	預 り 金	1,589,311
普通 預金	727,545	流動負債 計	2,425,078
現金・預金 計	757,326	負債の部合計	2,425,078
(売上債権)		正味財産の部	
未 収 金	1,622,807	【正味財産】	
売上債権 計	1,622,807	正味財産	△ 44,945
流動資産合計	2,380,133	(うち当期正味財産増加額)	△ 360,697
		正味財産 計	△ 44,945
資産の部合計	2,380,133	正味財産の部合計	△ 44,945
		負債・正味財産の部合計	2,380,133

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

地域活動支援センター こころの里

[税込] (単位:円)

平成30年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	29,781
普通 預金	<u>727,545</u>
現金・預金 計	<u>757,326</u>

(売上債権)

未 収 金	1,622,807
売上債権 計	<u>1,622,807</u>
流動資産合計	<u>2,380,133</u>

資産の部 合計

2,380,133

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

835,767

預 り 金

1,589,311

流動負債 計

2,425,078

負債の部 合計

2,425,078

正味財産

△ 44,945

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

地域活動支援センター こころの里

[税込] (単位:円)

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

《経常収支の部》

【経常収支の部】

【経常収入】

指定管理委託料	17,000,000
相談支援事業収入	3,117,510
補助金収入 (けんかれん家族支援事業助成金)	20,500
寄付金収入	30,000
雑収入	31,874
受取利息収入	16
経常収入 計	20,199,900

【事業費】

外部講師等報償費(事業)	122,000
印刷製本費	39,204
当期事業費 計	161,204
合 計	161,204
事業費 計	161,204

【管理費】

給料 手当	14,461,702
法定福利費	2,217,321
福利厚生費	324,180
通信費	1,318,712
水道光熱費	342,916
旅費交通費	44,120
広告宣伝費	64,087
接待交際費	12,721
会議費	8,595
事務用消耗品費	555,924
備品消耗品費	234,424
新聞図書費	85,344
修繕費	110,334
車両燃料費	70,000
保険料	196,006
租税 公課	28,300
諸会費	22,000
支払手数料	53,800
管理諸費	246,747
雜費	2,160
管理費 計	20,399,393
経常収支差額	△ 360,697

【その他資金収支の部】

【その他資金収入】	0
その他資金収入 計	0
【その他資金支出】	0
その他資金支出 計	0
当期収支差額	△ 360,697
前期繰越収支差額	△ 432,921
次期繰越収支差額	△ 793,618

《正味財産増減の部》

【正味財産増加の部】

正味財産増加の部 計	0
------------	---

【正味財産減少の部】

当期収支差額	360,697
正味財産減少の部 計	360,697
当期正味財産増加額	△ 360,697
前期繰越正味財産額	315,752
当期正味財産合計	△ 44,945

平成29年度 利用契約者状況 (平成30年 3月31日 現在)

表1. 開所日数・利用契約者・相談事業利用状況

開所日数	契約利用者数	新規契約		契約解消者		利用者数(実人入)			一人平均(日)	利用者数(のべ)			一日平均(人)	相談状況						面接相談	電話相談	同行・訪問	サロン	夜間電話件数			家族	見学・来訪者				
		男	女	男	女	総数	男	女		総数	男	女		総数	人間関係	生活関連	仕事関連	病気・薬	施設利用	福祉制度等	その他			18:00~	19:00~	20:00~						
4月	20	277	0	0	0	0	88	52	36	4.9	434	260	174	21.7	383	17	161	19	3	84	99	0	68	288	27	17	0	0	0	0	5	47
5月	20	278	1	1	1	0	92	57	35	5.2	481	291	190	24.1	482	16	240	17	9	125	75	0	87	353	42	26	0	0	0	0	14	44
6月	21	277	0	1	2	0	104	58	46	4.8	498	305	193	23.7	408	9	178	25	13	92	87	4	89	283	36	21	0	0	0	0	23	120
7月	20	279	0	2	0	0	96	64	32	5.0	476	297	179	23.8	452	13	199	18	13	105	102	2	89	335	27	25	3	2	1	0	20	70
8月	21	280	1	0	0	0	99	56	43	4.5	449	255	194	21.4	396	9	212	12	5	75	82	1	93	273	31	30	0	0	0	0	18	48
9月	20	284	2	2	0	0	98	61	37	4.3	426	255	171	21.3	385	11	175	18	7	89	85	0	92	250	43	28	0	0	0	0	16	60
10月	21	285	1	0	0	0	99	58	41	4.7	467	268	199	22.2	426	6	206	30	6	99	77	2	99	301	26	24	0	0	0	0	30	103
11月	20	285	0	0	0	0	90	54	36	4.9	437	275	162	21.9	349	4	181	10	3	89	62	0	65	258	26	26	2	1	0	1	11	42
12月	19	284	0	0	0	1	93	55	38	5.2	484	309	175	25.5	362	7	135	9	8	110	93	0	40	284	38	39	1	0	1	0	10	76
1月	19	283	0	0	1	0	93	56	37	4.9	459	295	164	24.2	378	10	163	15	6	96	86	2	73	260	45	38	0	0	0	0	12	46
2月	18	286	3	0	0	0	97	54	43	4.9	479	303	176	26.6	403	12	171	38	10	110	60	2	85	289	30	40	0	0	0	0	10	40
3月	23	286	2	0	1	1	100	61	39	5.8	580	397	183	25.2	487	17	188	24	19	130	107	2	104	348	35	47	0	0	0	0	15	42
合計	242	286	10	6	5	2	-	-	-	-	5,670	3,510	2,160	23.4	4,911	131	2,209	235	102	1,204	1,015	15	984	3,522	406	361	6	3	2	1	184	738
平均	20.2	-	-	-	-	-	95.8	57.2	38.6	4.9	472.5	292.5	180.0	23.5	409.3	10.9	184.1	19.6	8.5	100.3	84.6	1.3	82.0	293.5	33.8	30.1	0.5	0.3	0.2	0.1	15.3	61.5

表2-1. 生活支援事業参加状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
料理教室	6	-	8	-	7	-	4	-	5	-	8	-	38	6.3
手芸教室	4	-	5	-	6	-	4	-	4	-	5	-	28	4.7
カレーの日	8	-	13	-	15	-	18	-	12	-	18	-	84	14.0
鍋の日	-	7	-	5	-	4	-	2	-	4	-	4	26	4.3
絵手紙講座	1	2	3	1	3	5	2	3	1	5	4	0	30	2.5
スポーツの日(大会含む)	2	6	2	5	4	2	-	-	-	4	8	3	36	4.0
ソフトバレーボール	8	14	3	5	4	3	3	6	4	3	3	5	61	5.1
のど自慢会	5	9	7	4	6	5	6	5	-	7	8	8	70	6.4
シフォンケーキ作り	6	8	6	4	8	6	5	8	3	7	6	10	77	6.4
リフレッシュ教室	2	2	1	2	-	3	3	2	1	-	3	3	22	2.2
合唱の日	-	7	-	5	-	4	-	2	-	5	-	5	28	4.7
パソコン教室	3	2	4	3	4	5	4	4	6	3	5	3	46	3.8
ペーパークラフト体験会	3	4	5	5	3	1	1	1	1	2	3	3	32	2.7
ランチの日	-	12	-	12	-	12	-	15	-	14	-	19	84	14.0
せんざいの日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	14	14.0
きなこちもの日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	10	22	11.0
避難訓練・防災講座	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	13	16	8.0
合計	48	73	57	51	60	50	50	48	37	68	83	86	698	106.1

表2-2. 当事者活動参加状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
めばるの会	7	3	8	14	4	2	8	8	15	9	5	5	88	7.3
話茶話茶の会	-	10	-	9	-	6	-	6	-	6	-	7	44	7.3
合計	7	13	8	23	4	8	8	14	15	15	5	12	132	11.0

表2-3. ボランティアよりの支援状況(参加ボランティア数・延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
いちごミルク	5	5	6	4	4	3	3	4	3	4	3	5	49	4.1
カレーの日	3	-	3	-	4	-	1	-	1	-	2	-	14	2.3
料理教室	3	-	3	-	3	-	2	-	1	-	2	-	14	2.3
鍋の日	-	0	-	2	-	0	-	0	-	0	-	0	2	0.3
手芸教室	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	6	1.0
絵手紙講座	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11	0.9
ソフトバー	4	8	7	4	6	4	7	6	7	2	3	4	62	5.2
ショッピング作り	4	4	4	4	4	3	2	4	4	4	4	4	45	3.8
リフレッシュ教室	1	1	1	1	1	-	1	1	1	-	1	1	10	1.0
合唱の日	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	6	1.0
ランチの日	-	3	-	3	-	5	-	3	-	5	-	3	22	3.7
その他	0	0	9	0	0	4	41	6	14	0	5	0	79	6.6
合計	22	23	35	19	23	22	59	26	33	17	22	19	320	26.7

*地域交流事業含む

表3. 世帯構成(人)

	家族と同居	一人暮らし	その他	合計
男性	120	39	7	166
女性	91	20	9	120
合計	211	59	16	286
%	73.8	20.6	5.6	100.0

表4-1. 年代構成(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	1	12	26	46	38	36	6	1	166
女性	0	6	24	31	29	21	6	3	120
合計	1	18	50	77	67	57	12	4	286
%	0.3	6.3	17.5	26.9	23.4	19.9	4.2	1.4	100.0

表4-2. 利用者平均年齢(歳)

| | 平均年齢 |
<th
| --- | --- |

【書式例 5-4】

平成 29 年度 指定管理者自己点検結果

点 檢 日	30年 3月 31日 (1回目)
施 設 名	地域活動支援センター こころの里
所 在 地	玉野市宇野一丁目 8番 8号
指 定 管 理 者	名称 特定非営利活動法人 円い空 代表者 理事長 青井 一展 住 所 玉野市宇野一丁目 8番 8号
指 定 期 間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 (3 年間)
担 当	電 話 0863-33-5151 E-mail maruisora.5151@tulip.ocn.ne.jp

評価内容の総括	総合評価
本施設のこれまでの実績を基盤として、利用者の個々のニーズへの対応に努め、きめ細やかな支援を強化していくことを主眼に事業を実施しており、指定管理、運営等の実施状況は良好であり、全体としても良好に指定管理を行っている。	A

* 行数は適宜調節してください。

■ 「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A (良 好) 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B (課題含) 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C (要改善) 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p>【適切な施設管理の履行】 障害者地域活動支援センターとして、利用者・利用者家族・支援ボランティア・地域の関係機関の意見を踏まえながら、精神障害のある利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう必要な支援を行った。</p> <p>【法令等の遵守】 障害者総合支援法や玉野市障害者地域活動支援センター条例等の法令等を遵守し、適切な施設運営が実施した。</p> <p>【安全性の確保】 セキュリティ・消防業務等の専門的な業務については、委託業者を用いながら適切に実施している。</p> <p>【財産の適切な管理】 維持管理は適切に実施している。</p> <p>【利用状況】 利用契約者は毎年増加。生活相談事業活用者は増加傾向。</p> <p>【コスト削減への方策】 コスト削減については、支出の8割が人件費関連の支出で、日頃からコスト削減の努力をしているが、これ以上のコスト削減は見込めない。</p>	A
<p>* 行数は適宜調節してください。</p> <p>職員各人が研さんを行うとともに、地域住民に対してもコンサート等を通じて地域交流・普及啓発に努め、サービスの維持向上に取り組んでいる。</p>	A
<p>* 行数は適宜調節してください。</p> <p>コスト削減の努力は行っているものの、引き続き赤字経営となっている。 事業費に占める人件費率が8割を占める状況、経験と実績のある専門職者の確保及び年々従業員の昇給も考えなくてはいけない状況に鑑み、財源について玉野市との協議も継続していく必要があるものと思われる。</p>	B

■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。